

-震災後の心のケアを健康調査から考える-

塩釜保健所岩沼支所圏域のアルコール関連
問題対策について
～健康調査の結果から事業化へ～

平成29年11月29日 みやぎ心のケアフォーラム
仙台保健福祉事務所（塩釜保健所）岩沼支所 赤坂明美

はじめに

- 当管内では震災により甚大な被害を受け、身近な人との死別、財産や仕事の喪失、将来に対する不安等からアルコールへの依存性が高くなり、朝から飲酒や多量飲酒者の存在が顕在化した。
- しかし、これまで専門相談等のアルコール対策は本所主体で実施されていた。
- 被災者健康調査結果や相談件数増加により、岩沼支所主体で対策の充実を図る必要性が高まった。
- 今回は「心のケアを健康調査から考える」を「アルコール関連問題」から話題提供する。

塩釜保健所岩沼支所

- 名称：仙台保健福祉事務所（塩釜保健所）岩沼支所

- H9年4月組織改編で支所となる

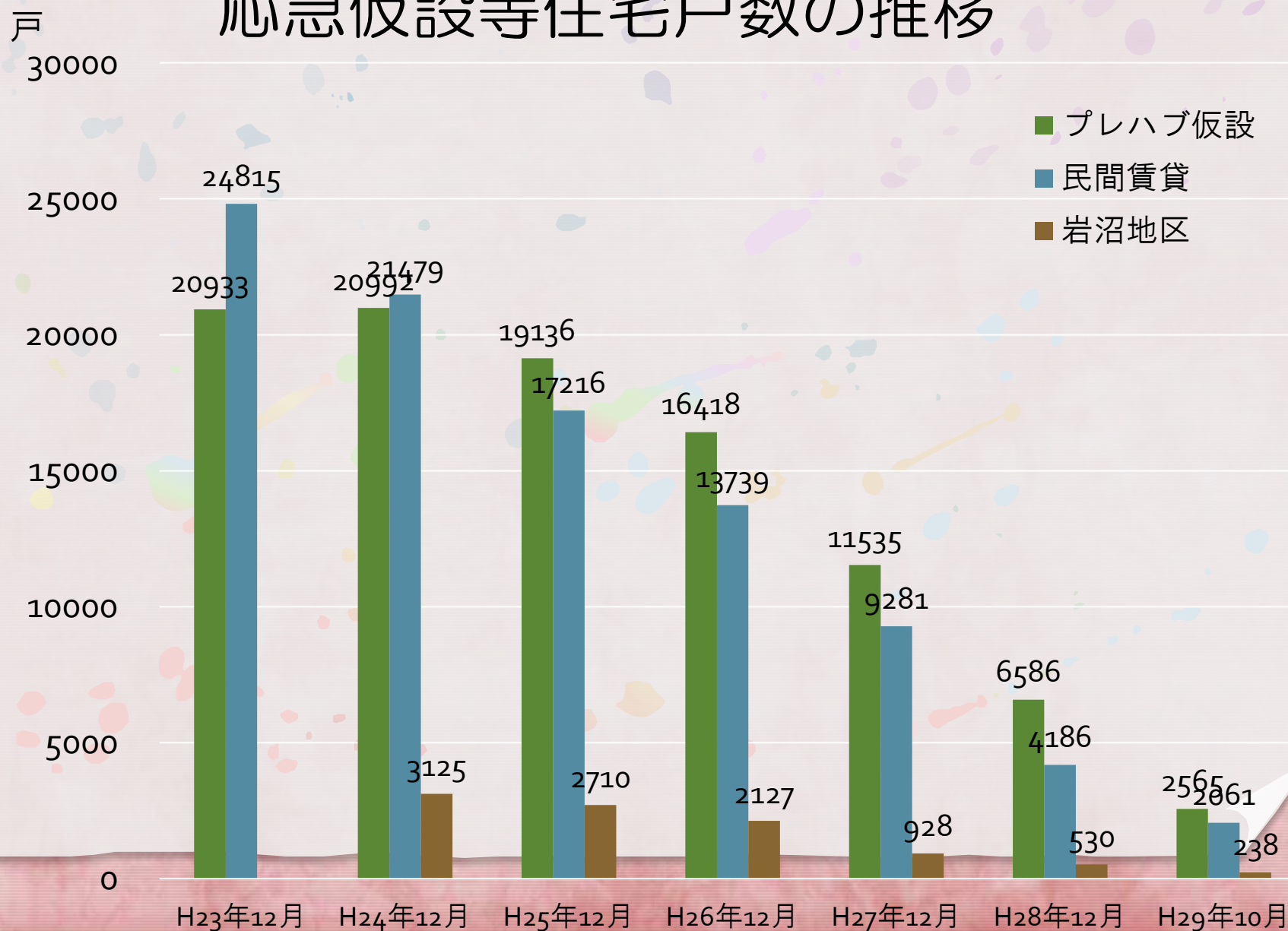
- 2市2町管轄（名取市・岩沼市・亘理町・山元町）

- 仙台市・福島県（相馬）の通勤圏

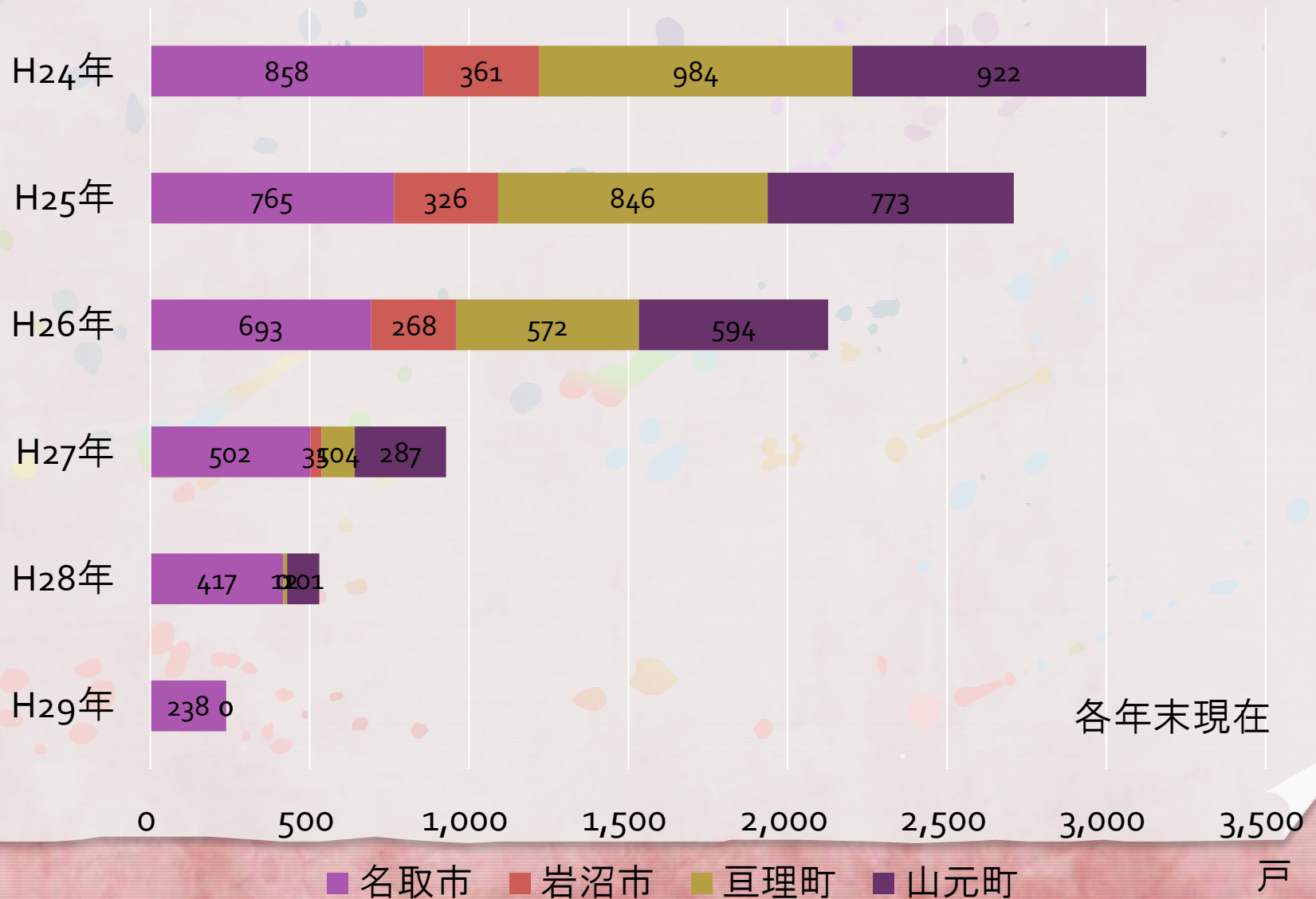
- 人口約 16万8千人



応急仮設等住宅戸数の推移



プレハブ仮設住宅入居戸数の推移



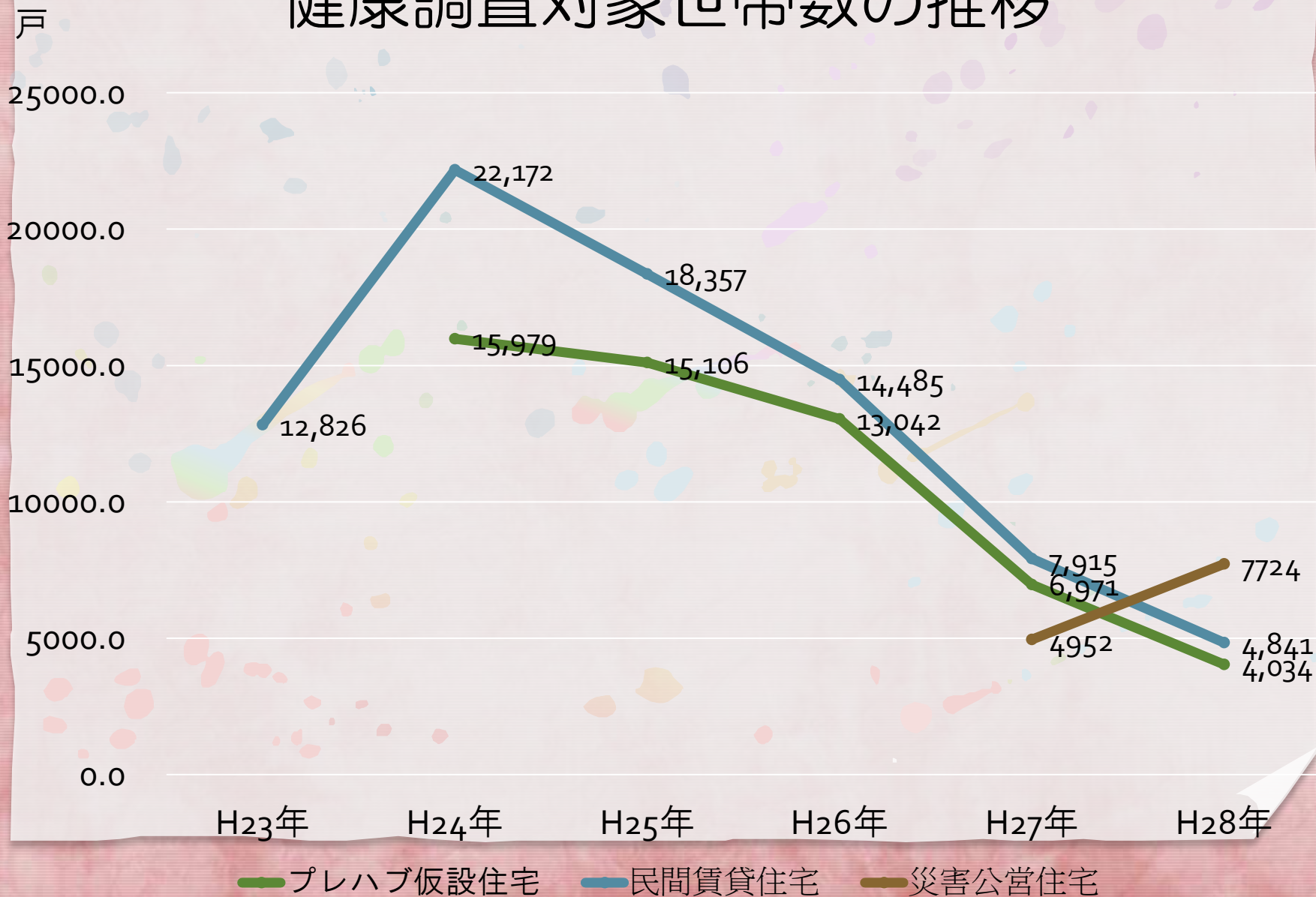
宮城県の被災者健康調査

応急仮設住宅等（プレハブ住宅，民間賃貸借上住宅等）での生活が長期化するに伴って，様々な健康問題の発生が懸念されることから，入居者の健康状況を把握し，要フォロー者を必要な健康支援事業に結びつけるとともに，施策展開の基礎資料とすることを目的として実施したもの。

- 民間賃貸借上住宅 平成 2 3 年度開始
- プレハブ仮設住宅 平成 2 4 年度開始
- 災害公営住宅 平成 2 7 年度開始



健康調査対象世帯数の推移



宮城県の健康調査の概要

調査対象		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
プレハブ 仮設住宅	市町数		10	9	8	7	5
	対象世帯数		15, 979	15, 106	13, 042	6, 971	4, 034
	回収率		58. 6	50. 9	50. 2	55. 1	57. 3
	回答者数		21, 450	16, 728	13, 070	7, 915	4, 245
民間賃貸住宅	市町数	－	－	－	－	－	－
	対象世帯数	12, 826	22, 172	18, 357	14, 485	10, 148	4, 841
	回収率	73. 4	63. 7	62. 8	59. 1	59. 1	51. 4
	回答者数	26, 818	34, 222	27, 256	18, 638	12, 527	5, 270
災害公営住宅	市町数					14	13
	対象世帯数					4, 952	7, 724
	回収率					61. 2	47. 1
	回答者数					5, 749	6, 270
回答者合計		26, 818	55, 672	43, 984	31, 708	26, 191	15, 785

健康調査の飲酒に関する調査項目

□ 「朝又は昼から飲酒」

平成23年度から調査

□ 「多量飲酒」

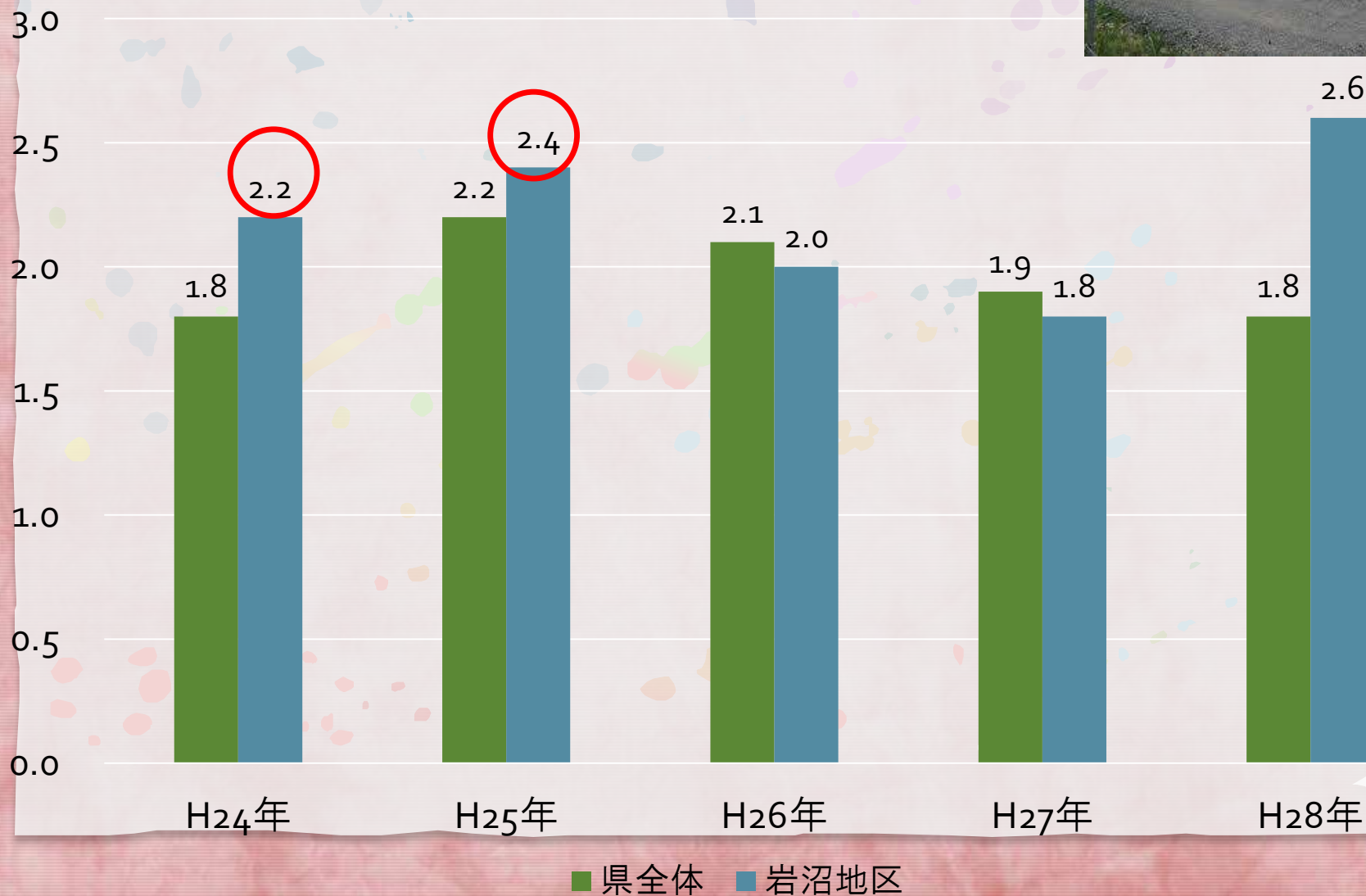
平成26年度から調査
定義)

週4日以上

かつ1日日本酒3合以上飲酒

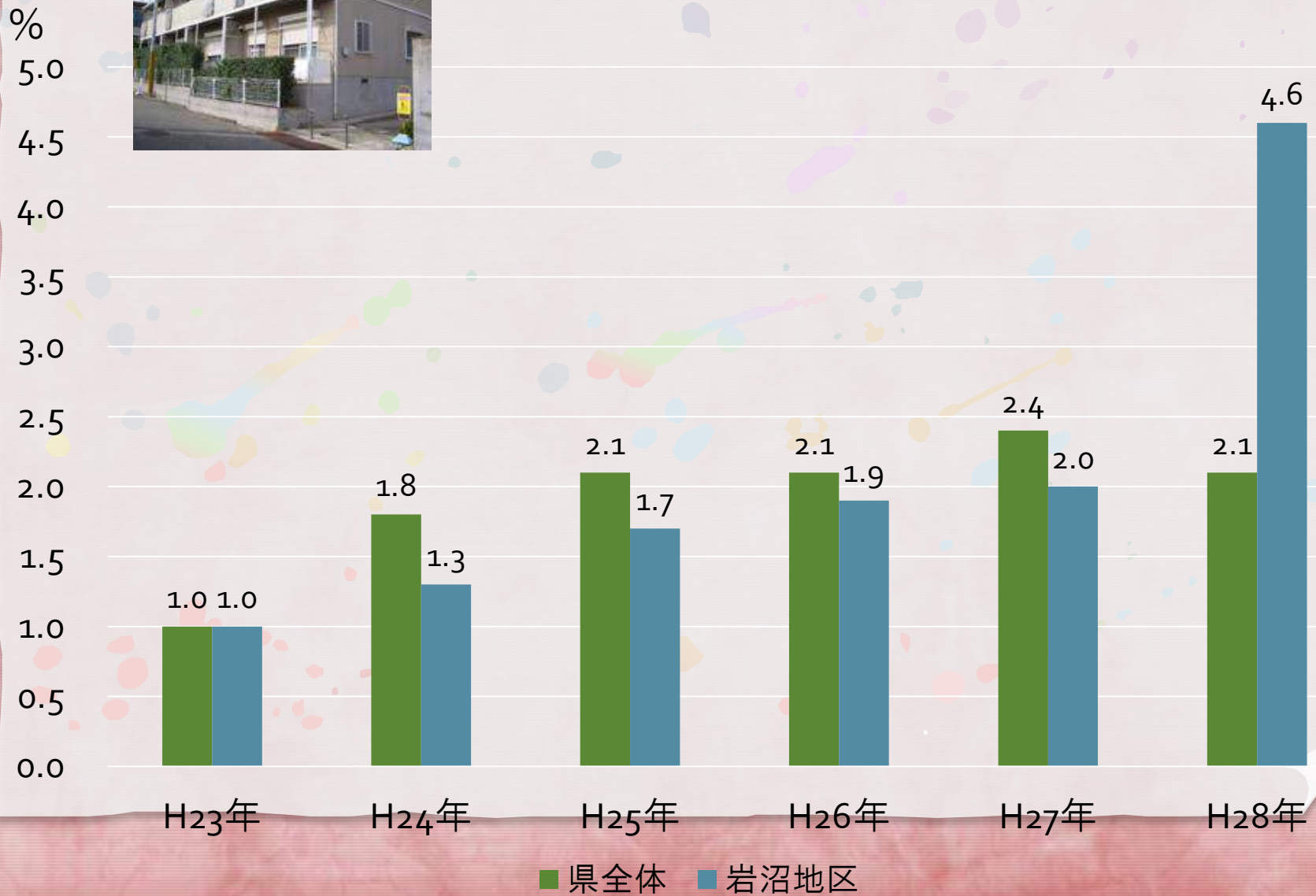
朝又は昼から飲酒（プレハブ仮設）

%

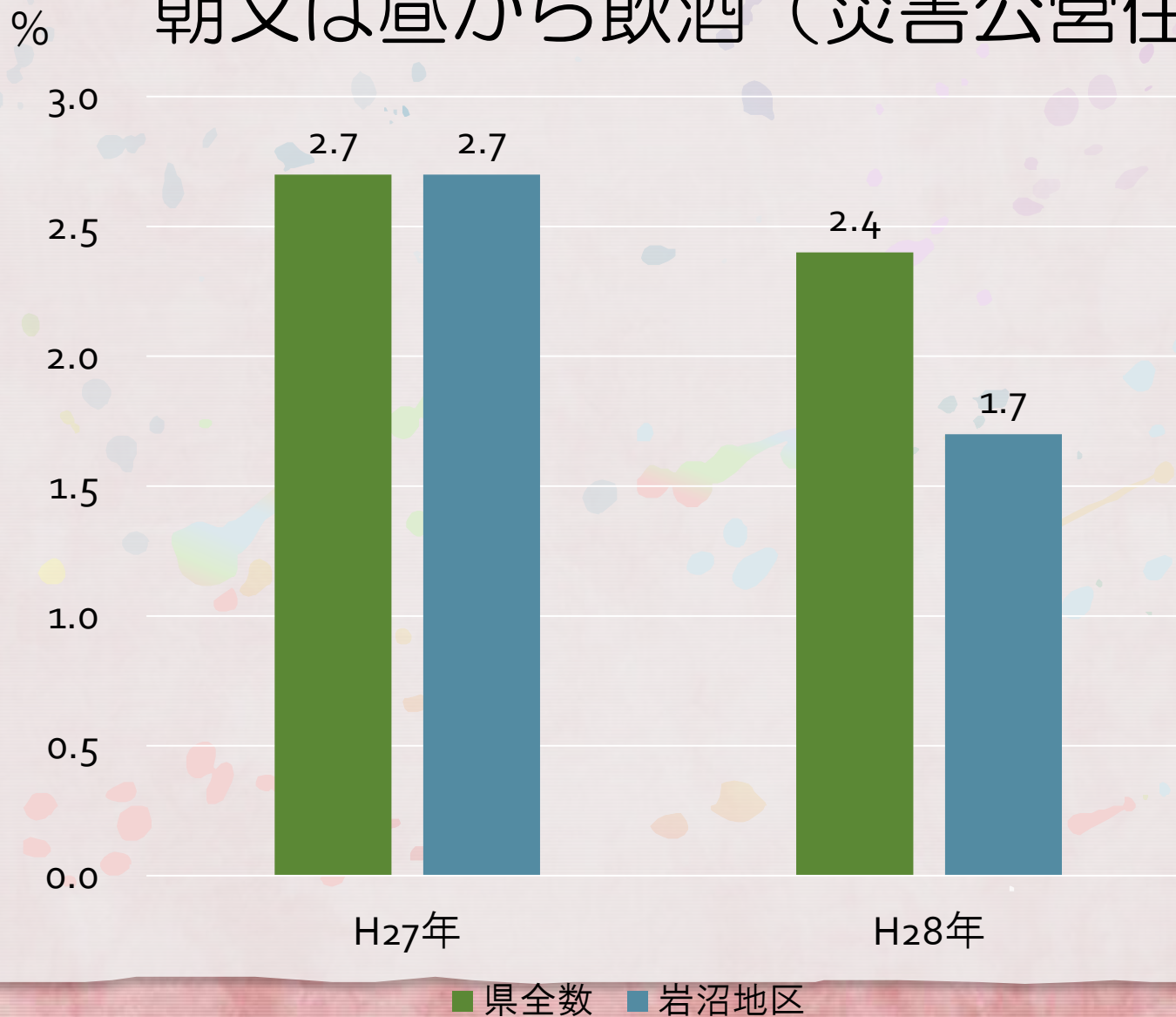




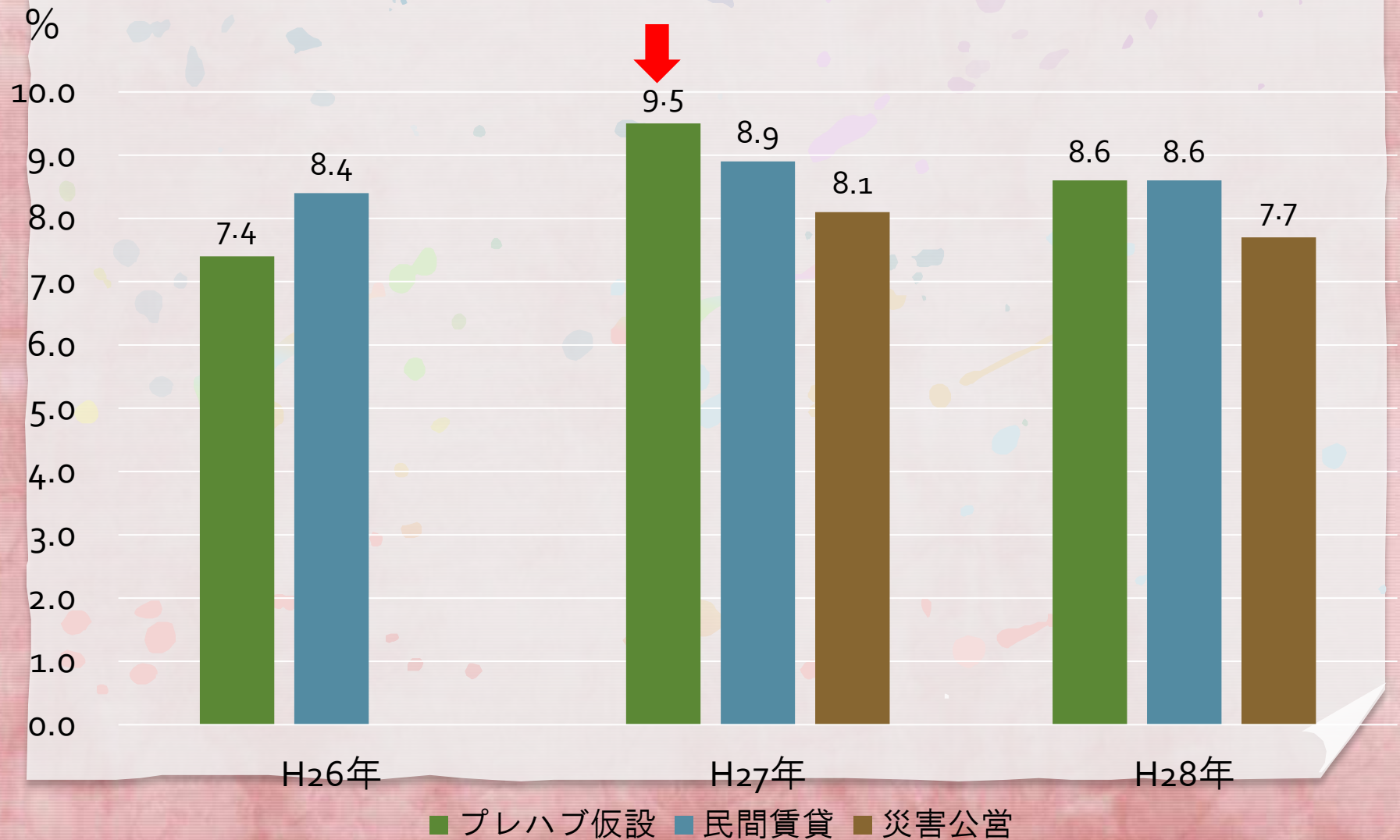
朝又は昼から飲酒（民間賃貸）



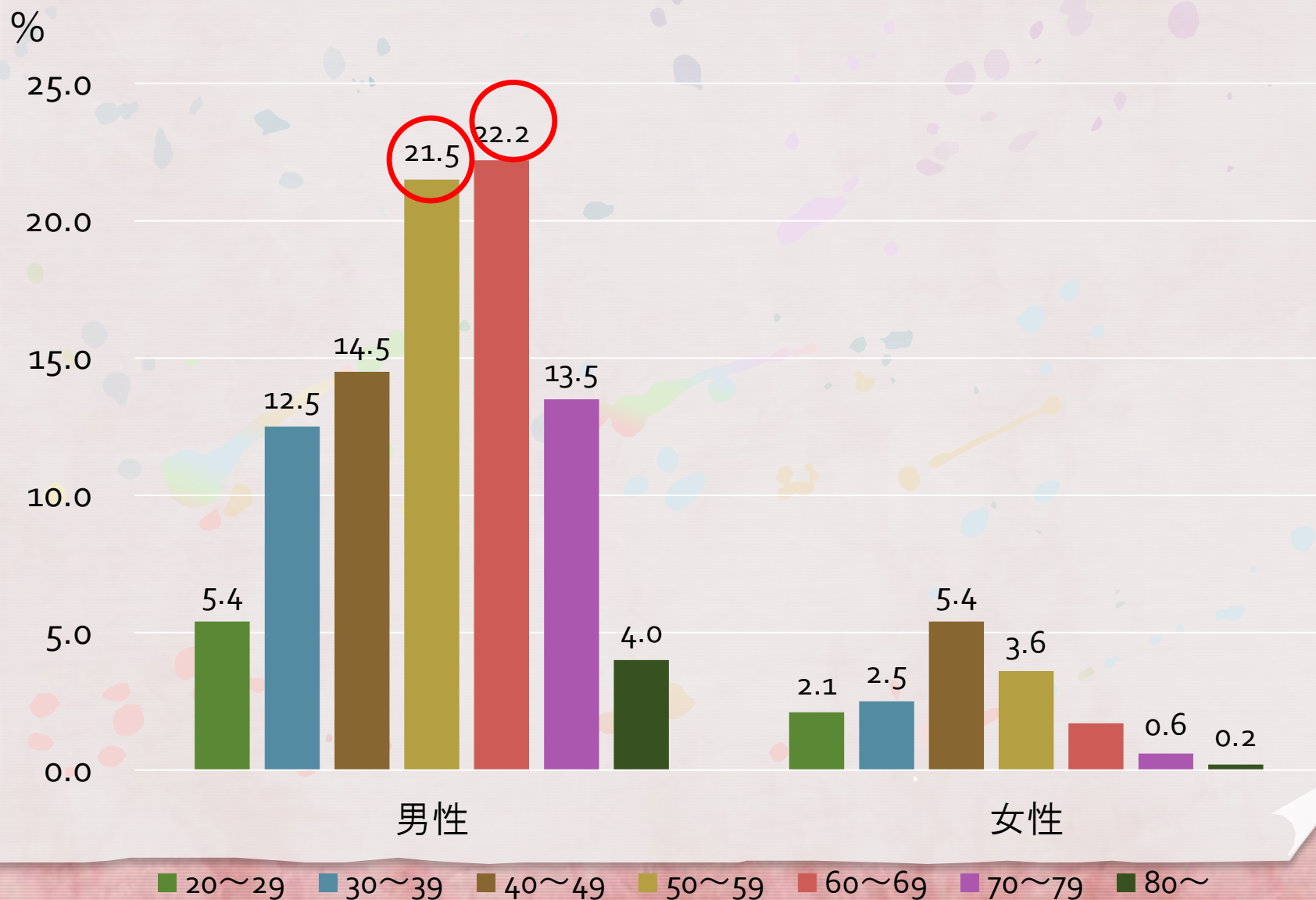
朝又は昼から飲酒（災害公営住宅）



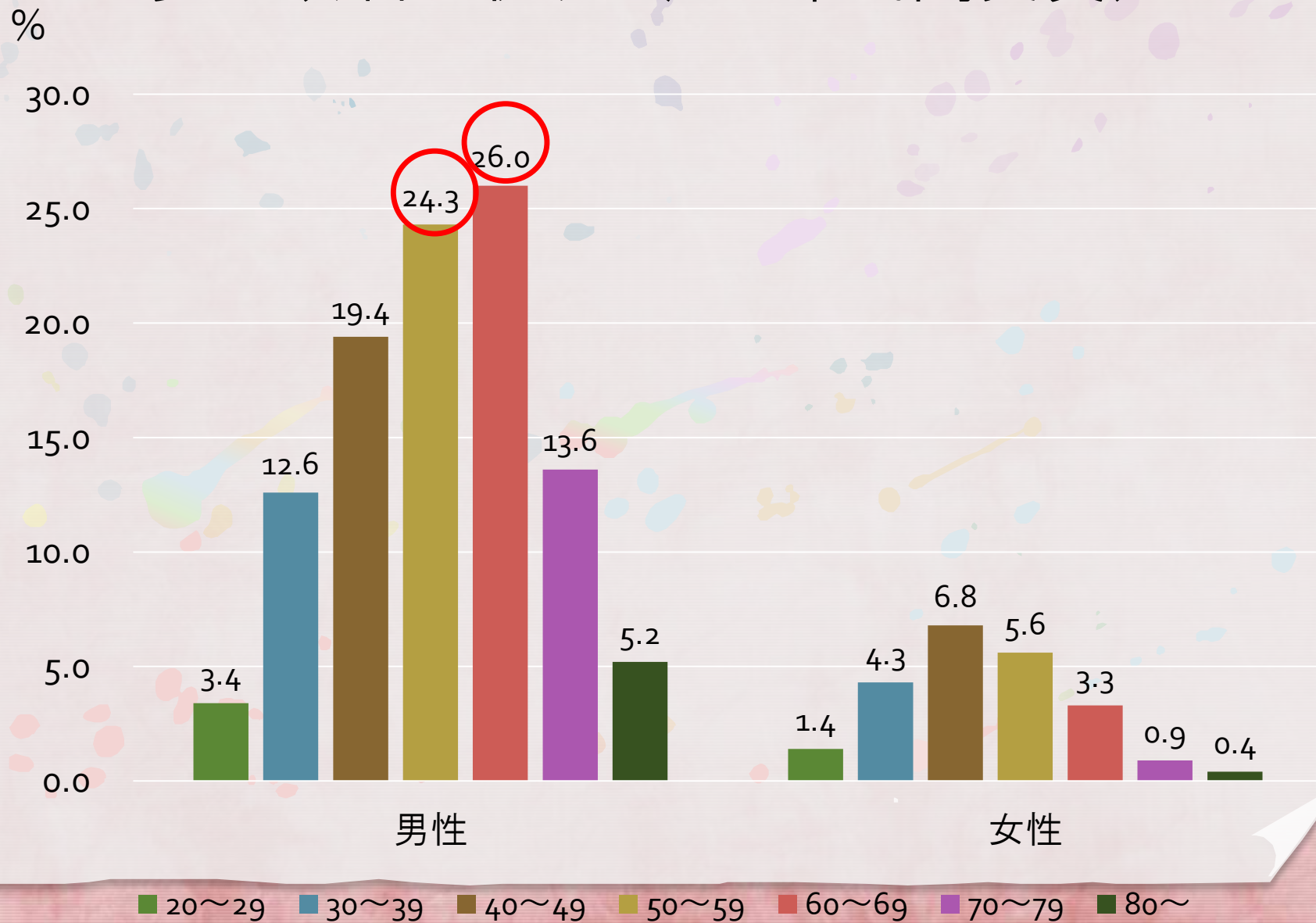
多量飲酒者の状況（居住施設別）



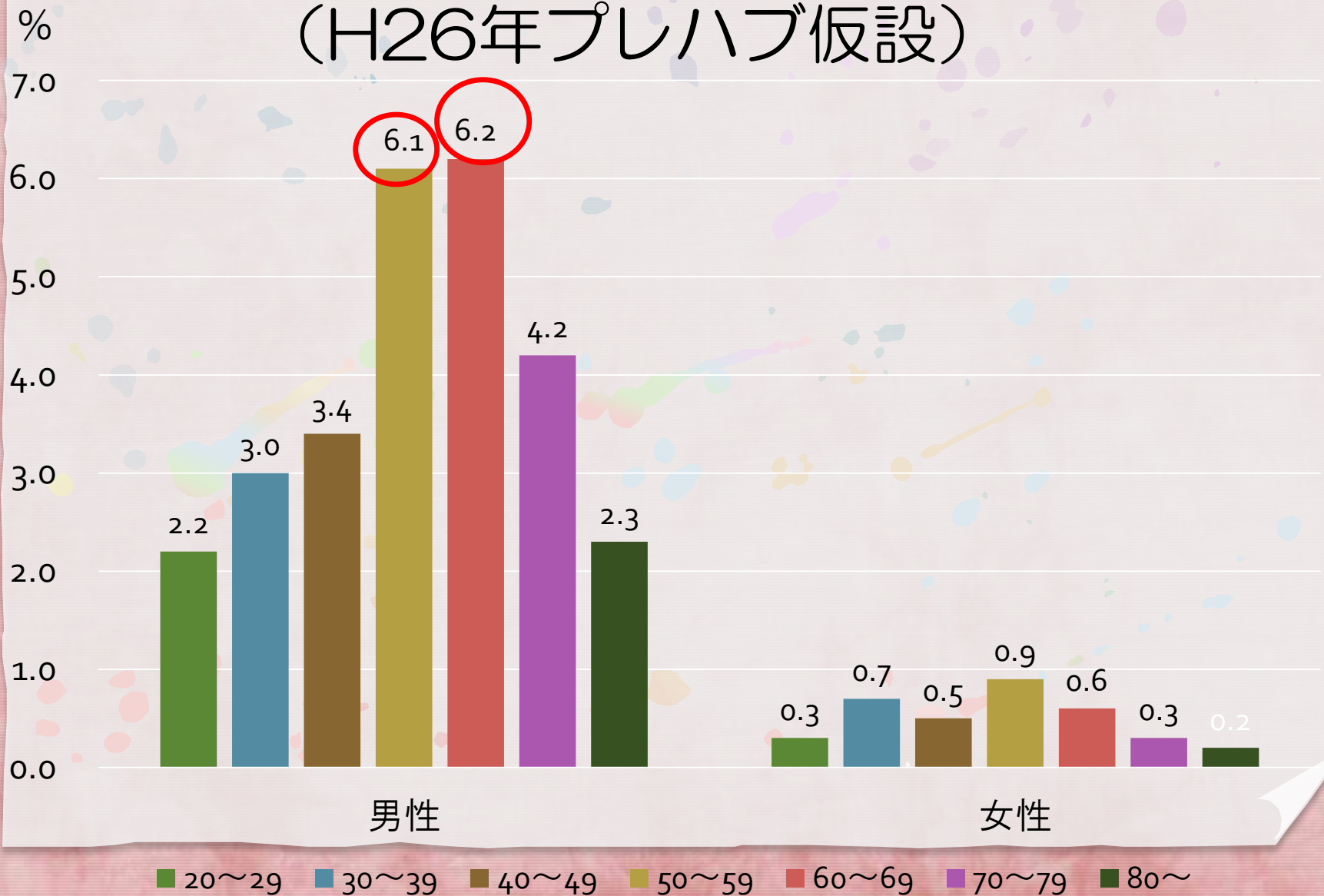
多量飲酒の状況（H26年プレハブ仮設）



多量飲酒の状況（H26年民間賃貸）

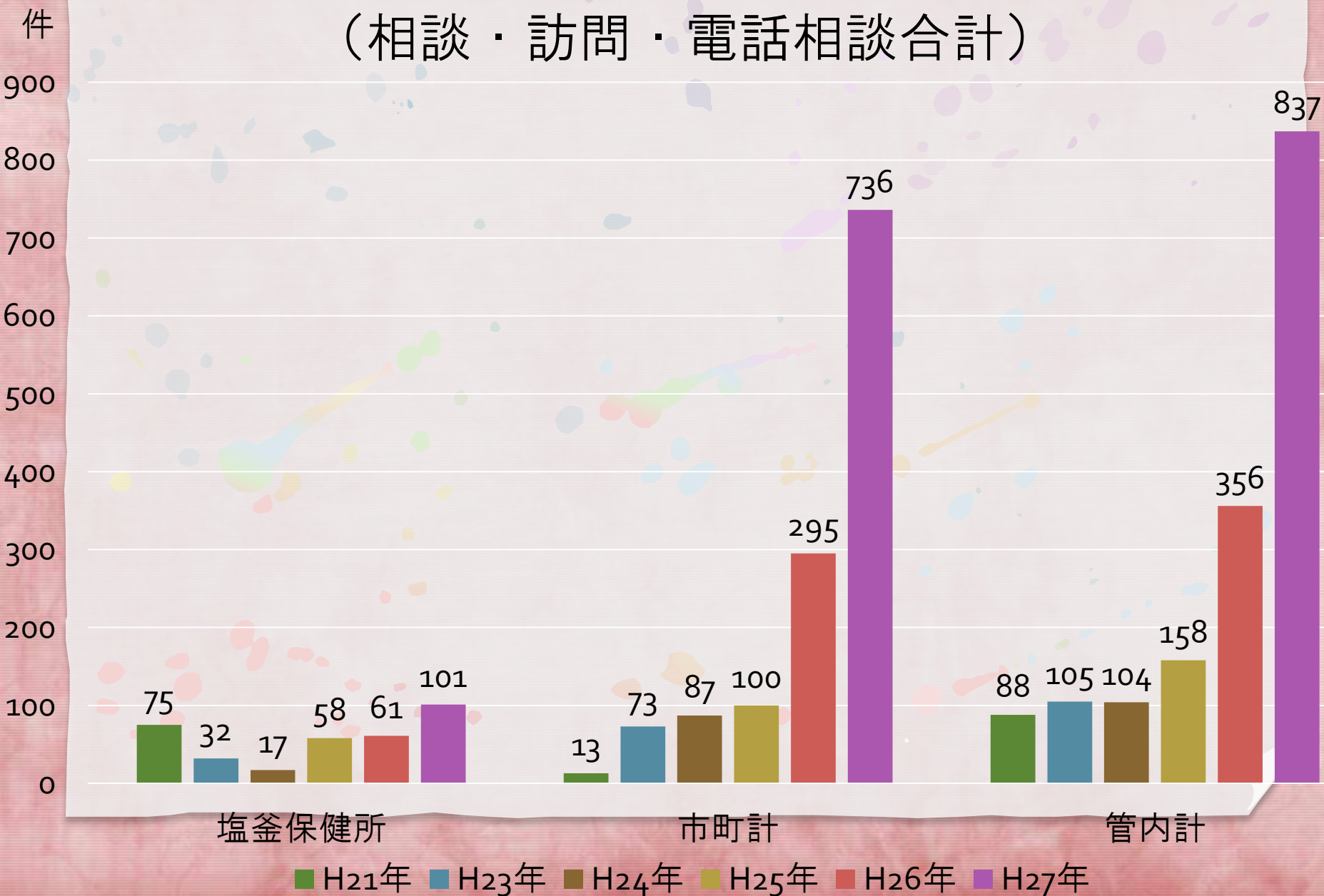


朝又は昼から飲酒 年代別割合 (H26年プレハブ仮設)



地域保健・健康増進事業報告

(相談・訪問・電話相談合計)



アルコール関連問題の顕在化

- 相談件数が**震災前後で約10倍増加**

※（H21年とH27年の比較）

- 健康調査の結果で顕在化。

※経済的理由や転居による孤立化などが背景にある。

- 50-60代の男性（H26年度健康調査）

プレハブ仮設：5人に1人が多量飲酒者

民間賃貸：4人に1人が多量飲酒者

- 関係機関からのアルコール問題が提起され、連携強化や情報共有がさらに必要となった。
- メタボリスク保有率2位。腹囲リスク3位。
血圧リスク1位。（H27年度 特定健診から）



岩沼支所のアルコール対策の経過



年度	専門相談	家族支援	研 修 会 等
H23	(本所活用)	個別支援	－
H24	(本所活用)	個別支援	－
H25	(本所活用)	個別支援	－
H26	(本所活用)	個別支援	(本所・心のケアセンター主催の支援者研修会へ参加 2回)
H27	4回 	個別支援	「アルコール問題を持つ人をどう支えるか」 「早期介入による節酒支援のメリット」
H28	6回	家族教室 6回	研修会「アルコールに悩む家族への支援-クラフトを使った支援」 「早期介入による節酒支援のメリット-行動変容を促す目標設定」 「地域医療対策委員会主催研修会」 市町支援 「健康サロンでの HAPPY プログラム」
H29	10回	家族教室 10回	研修会「節酒指導力向上セミナー-10分で出来る！節酒支援」 市町支援 「健康サロンでの HAPPY プログラム」

支援者のつづやき

- アルコール依存症の人は時間も手間も
沢山かかる . . .
- 手間がかかる割には、あまり回復の手
応えを感じない . . . やってもやっ
てもきりが無い . .
- 家族が疲れ切っている。何か力になり
たいが . . .



岩沼支所のアルコール対策の経過

年度	専門相談	家族支援	研 修 会 等
H23	(本所活用)	個別支援	－
H24	(本所活用)	個別支援	－
H25	(本所活用)	個別支援	－
H26	(本所活用)	個別支援	(本所・心のケアセンター主催の支援者研修会へ参加 2回)
H27	4回	個別支援	「アルコール問題を持つ人をどう支えるか」 「早期介入による節酒支援のメリット」
H28	6回	家族教室 6回	研修会「アルコールに悩む家族への支援-クラフトを使った支援」 「早期介入による節酒支援のメリット-行動変容を促す目標設定」 「地域医療対策委員会主催研修会」 市町支援 「健康サロンでの HAPPY プログラム」
H29	10回	家族教室 10回	研修会「節酒指導力向上セミナー-10分で出来る！節酒支援」 市町支援 「健康サロンでの HAPPY プログラム」

保健所の節酒への支援

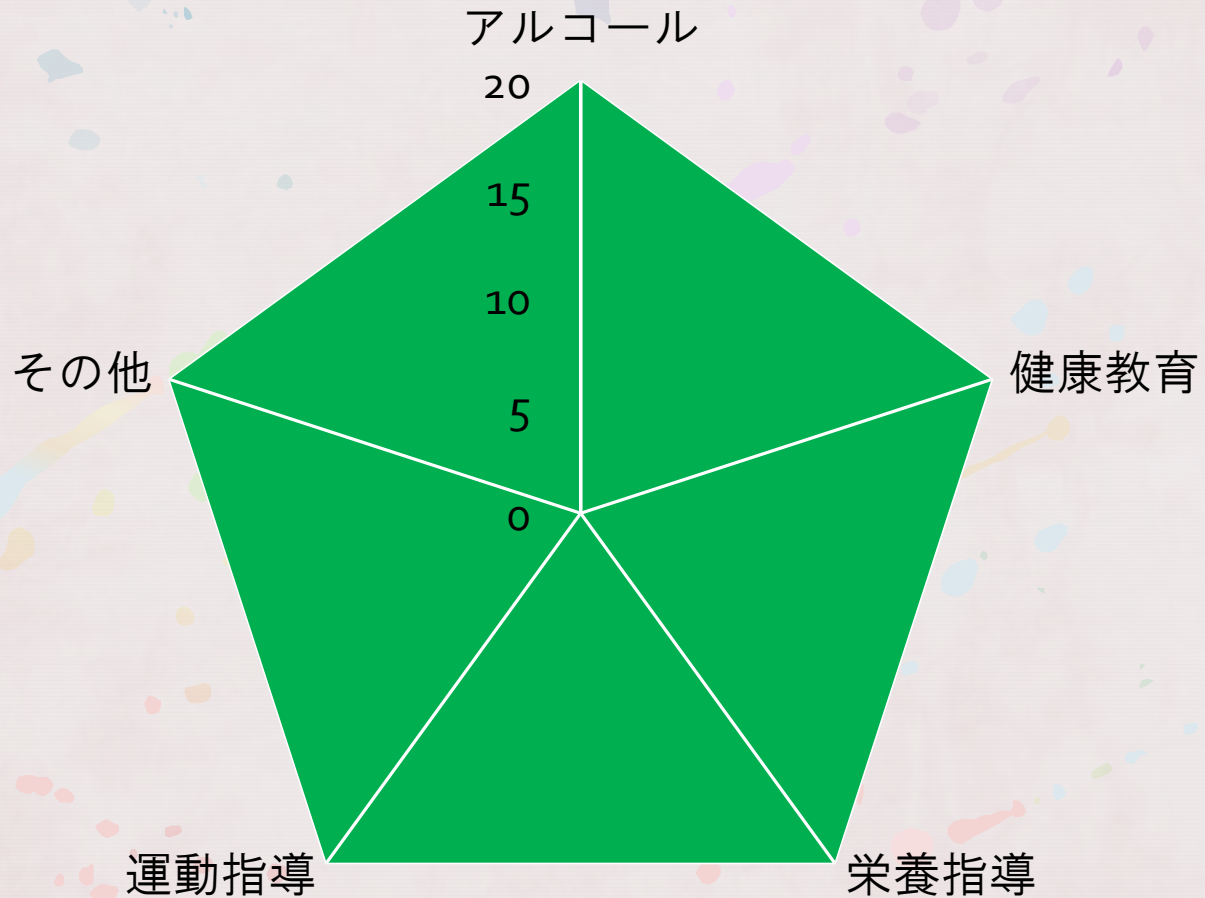
＜研修会企画＞

- ◆ 平成28年2月 「早期介入による節酒支援のメリット
～AUDITの取り方～」
講師：福田 貴博（国立病院機構琉球病院 医師）
- ◆ 平成28年9月 「早期介入による節酒支援のメリット
～行動変容を促す目標設定と関わり方」 平成28年9月
講師：福田 貴博（国立病院機構琉球病院 医師）

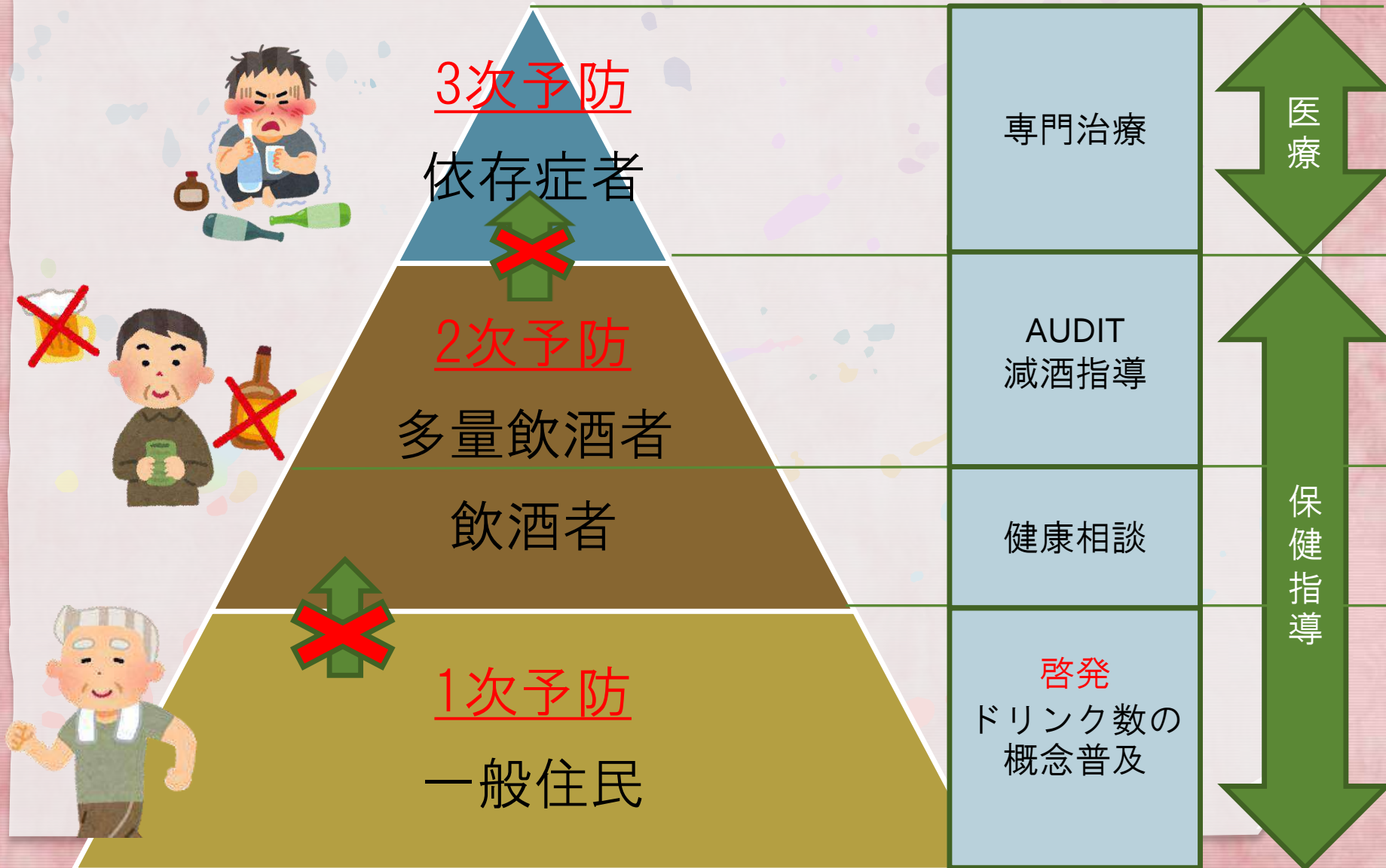
対象者は、被災者支援員、
サポートセンター、心のケアセンター
保健センター職員等被災者支援に
関わる方。H28年は健康増進分野の職員も
対象に追加



名取市健康サロン



介入対象と介入方法



今後保健所が目指す方向性

- 2次予防の視点（健康をテーマ）での介入を広域的に拡げること
 - 特定健診からのアプローチ方法の検討
 - 節酒支援のグループを管内に普及する
- アルコールに悩む家族への支援の充実（CRAFT）



10分で出来る！節酒支援

講師 福田 貴博 先生

地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館



日時

平成29年12月1日（金）
13：00～17：00

実践的なプログラムを含みます

場所

岩沼市総合福祉センターiあいプラザ

〒989-2427 宮城県岩沼市里の杜3丁目4-15

対象

医療・保健・福祉従事者
被災者支援に携わる支援者

参加費 無料

申込締切日 平成29年11月24日（金）

※裏面の参加申込書をご記入の上、FAXまたは電話にてお申し込みください。

※お問い合わせ先

みやぎ心のケアセンター 地域支援課 大場・甘糟（あまかす）
Tel 022-263-6615

<主催> 宮城県塩釜保健所岩沼支所・みやぎ心のケアセンター